授業科目	区分・教育内容		
人体のしくみと働きⅠ	専門基礎分野 人体の構造と機能		
授業担当者	開講時期	単位	時間数
板東　良雄 (秋田大学大学院医学系研究科)	前期～中期	2 単位	60 時間

授業の目的

人体を構成する細胞・臓器・器官の名称・構造・機能について、基本的な事項を理解する。

授業の目標

正常人体の構造(解剖)と機能(生理)を関連づけて理解し、主要器官・組織の正常機能とそのしくみの概要を説明できる。また、各器官がどのように統合的に活動しているのか、様々な疾患はそれらの正常機能が破綻することによって成り立っていることを理解する。試験に合格することが目標ではなく、臨床で実際に使える知識を身につける。

授業概要

教科書に沿って講義を展開するが、主に解剖学の内容を概説する。必要に応じて、板書とスライドを用いて講義を行う。各器官系を構成している主な細胞を列挙し、臓器や器官の基本的な構造や機能について説明できるようになることを各講義における到達目標とする。ここで学習することのすべてが専門科目を学ぶための基礎知識として必須となる。

授業計画(進め方)と具体的到達目標

1－ 3 回　骨格系; 骨組織を構成する細胞と骨および関節の基本的構造を説明できる。
全身の主な骨と関節を列挙し、その特徴を概説できる。

3－ 6 回　筋肉系；筋組織を構成する細胞と全身の主な筋を列挙することできる。
全身の主な筋の機能を概説できる。

7－ 8 回　循環器系；心臓および全身の脈管系(血管およびリンパ)の基本的構造を概説できる。

9－10 回　呼吸器系；気道および肺の基本構造を概説できる。

11－14 回　消化器系；消化器を構成する臓器・器官を列挙し、それらの基本構造を概説できる。

15－16 回　泌尿器系；腎臓および泌尿器を構成する基本構造について概説できる。

17－18 回　生殖器系；構造の違いについて性差やその機能を概説できる。

19－20 回　解剖学実習見学；秋田大学医学部において解剖学実習を見学する。
全身を構成する主要な臓器・器官について立体的に理解する。

21－22 回　内分泌系;全身の内分泌器官の構造とホルモンの分泌機序とその作用を概説できる。

23－24 回　神経系(1)；中枢神経の基本構造を概説できる。

25－26 回　神経系(2)；末梢神経(自律神経系と脳神経系)の基本構造を概説できる。

27－28 回　感覚器系；皮膚、視覚器、聴覚器の構造を概説できる。

テキスト

ナーシンググラフィカ　人体の構造と機能①　解剖生理学　メディカ出版

参考書・指定図書

系統看護学講座　専門基礎分野　人体の構造と機能[1]　解剖生理学（医学書院)、トートラ人体の構造と機能（丸善)、人体の解剖生理学（金芳堂)、解剖生理学（南山堂)、看護 1000 問学校　解剖生理学科（宣広社）など。概して高価なので、自分に合ったものを選べばよい。

評価の方法

試験の成績に加え、出席状況を加味し、総合的に評価する。

試験は 2 回に分けて実施し、合計した点数で評価する。